

1 家定 13代 1853~58 病弱

ハリス着任と幕府の対立

1855. 老中(首座)は阿部正弘(1857没)から、堀田正睦へ

問題1 通商条約問題 …2 尊王攘夷派(水戸藩など)と朝廷(特に3 孝明天皇)が反対

1856. 4 ハリス(アメリカ総領事)、5 下田に着任し通商条約を要求

6 インド大反乱や7 アロー戦争(第二次アヘン戦争)を背景に交渉

…1857~59. 英の支配に抵抗 …1856~60. 清は英・仏に敗北→天津条約→北京条約(1860)

問題2 8 將軍継嗣問題 (將軍家定には子なし)

9 一橋派…10 一橋慶喜を擁立(前水戸藩主11 徳川斉昭の子で一橋家の養子、19歳)

<例>12 松平慶永(「春嶽」越前)、13 徳川慶篤(水戸)…親藩 } 雄藩新勢力

14 島津斉彬(薩摩)、15 伊達宗城(宇和島)、山内豊信(土佐)…外様

16 南紀派…17 徳川慶福を擁立(紀州藩主で將軍家定の従兄弟、10歳)

<例>18 井伊直弼(彦根)ら譜代 =幕府旧勢力 +大奥

1858. 堀田正睦が京へ(上洛)…天皇の許可(19 勅許)によって、2つの問題の同時解決(將軍継嗣→慶喜、条約→締結)を図ろうとするがどちらも失敗

井伊が20 大老に就任→21 將軍後継を慶福に決定 堀田の老中解任

22 通商条約は勅許なしで調印(23 違勅調印)

→一橋派反発、孝明天皇激怒し24 戊午の密勅(条約調印への抗議など)を水戸藩へ

25 家茂 14代(1858~66) ※慶福が改名

26 安政の大獄(1858~59)…一橋派ら反対勢力の弾圧 100人以上

<例>謹慎: 一橋慶喜、徳川斉昭、松平慶永、川路聖謨、岩瀬忠震、永井尚志ら

処刑: 27 橋本左内(越前)、28 頼三樹三郎(儒学者)、

29 吉田松陰(長州…私塾30 松下村塾)→高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文ら

→31 桜田門外の変(1860)…32 水戸浪士らによる大老井伊の暗殺

※天災・人災の多発 →社会不安の増大

<例>安政三大地震…安政の東海地震(1854)・南海地震(1854)・江戸地震(1855)

コレラの流行(1858~)←貿易開始

